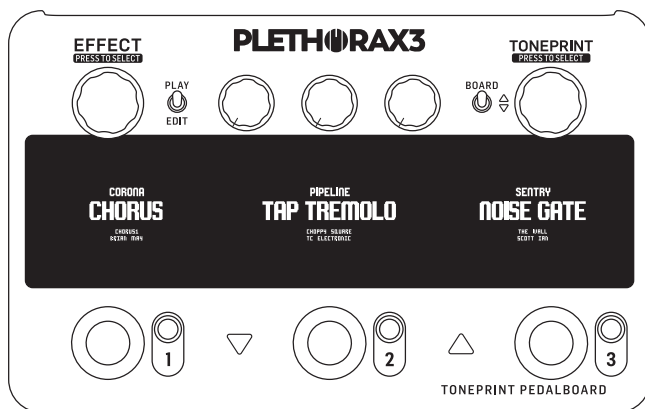




PLETHORA X3

TonePrint Pedalboard with up to 127 Boards, 3 Pedal Slots,
All Your Favorite TC Effects, 75 TonePrint Slots Per Effect,
3 MASH Footswitches and Tape Deck Looper

JP

JP 安全にお使いいただくために

**注意**

感電の恐れがありますので、カバーやその他の部品を取り外したり、開けたりしないでください。高品質なブ口用スピーカーケーブル (1/4" TS 標準ケーブル およびツイスト ロッキング プラグケーブル) を使用してください。

**注意**

火事および感電の危険を防ぐため、本装置を水分や湿気のあるところには設置しないで下さい。装置には決して水分がからないように注意し、花瓶など水分を含んだものは、装置の上には置かないようにしてください。

**注意**

このマークが表示されている箇所には、内部に高圧電流が生じています。手を触れると感電の恐れがあります。

**注意**

取り扱いとお手入れの方法についての重要な説明が付属の取扱説明書に記載されています。ご使用前の良にお読みください。

**注意**

1. 取扱説明書を通してご覧ください。
2. 取扱説明書を大切に保管してください。

3. 警告に従ってください。
4. 指示に従ってください。
5. 本機を水の近くで使用しないでください。
6. お手入れの際は常に乾燥した布巾を使ってください。
7. 本機は、取扱説明書の指示に従い、適切な換気を妨げない場所に設置してください。取扱説明書に従って設置してください。
8. 本機は、電気ヒーターや温風機器、ストーブ、調理台やアンプといった熱源から離して設置してください。
9. 二極式プラグおよびアースタイプ (三芯) プラグの安全ピンは取り外さないでください。二極式プラグにはピンが二本ついており、そのうち一本はもう一方よりも幅が広がっています。アースタイプの三芯プラグには二本のピンに加えてアース用のピンが一本ついています。これらの幅の広いピン、およびアースピンは、安全のためのものです。備え付けのプラグが、お使いのコンセントの形状と異なる場合は、電器技師に相談してコンセントの交換をして下さい。
10. 電源コードを踏みつけた、挟んだりしないようご注意ください。電源コードやプラグ、コンセント及び製品との接続には十分にご注意ください。
11. すべての装置の接地 (アース) が確保されていることを確認して下さい。
12. 電源タップや電源プラグは電源遮断機として利用されている場合には、これが直ぐに操作できるよう手元に設置して下さい。
13. 付属品は本機製造元が指定したもののみをお使いください。



14. カートスタンド、三脚、ブラケット、テーブルなどは、本機製造元が指定したもの、

もしくは本機の付属品となるもののみをお使いください。カートを使用時の運搬の際は、器具の落下による怪我に十分ご注意ください。

15. 雷雨の場合、もしくは長期間ご使用にならない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

16. 故障の際は当社指定のサービス技術者にお問い合わせください。電源コードもしくはプラグの損傷、液体の装置内への浸入、装置の上に物が落下した場合、雨や湿気に装置が晒されてしまった場合、正常に作動しない場合、もしくは装置を地面に落下させてしまった場合など、いかなる形であれ装置に損傷が加わった場合は、装置の修理・点検を受けてください。



17. 本製品に電源コードが付属されている場合、付属の電源コードは本製品以外ではご使用いただけません。電源コードは必ず本製品に付属された電源コードのみご使用ください。

18. ブックケースなどのような、閉じたスペースには設置しないでください。

19. 本機の上に点火した蠟燭などの裸火を置かないでください。

20. 電池廃棄の際には、環境へのご配慮をお願いします。電池は、かならず電池回収場所に廃棄してください。

21. 本装置は 45°C 以下の温帯気候でご使用ください。

法的放棄

ここに含まれる記述、写真、意見の全体または一部に依拠して、いかなる人が損害を生じさせた場合にも、Music Tribe は一切の賠償責任を負いません。技術仕様、外観およびその他の情報は予告なく変更になる場合があります。商標はすべて、それぞれの所有者に帰属します。Midas, Klark Teknik, Lab Gruppen, Lake, Tannoy, Turbosound, TC Electronic, TC Helicon, Behringer, Bugera, Aston Microphones および Coolaudio は Music Tribe Global Brands Ltd. の商標または登録商標です。© Music Tribe Global Brands Ltd. 2022 無断転用禁止。

限定保証

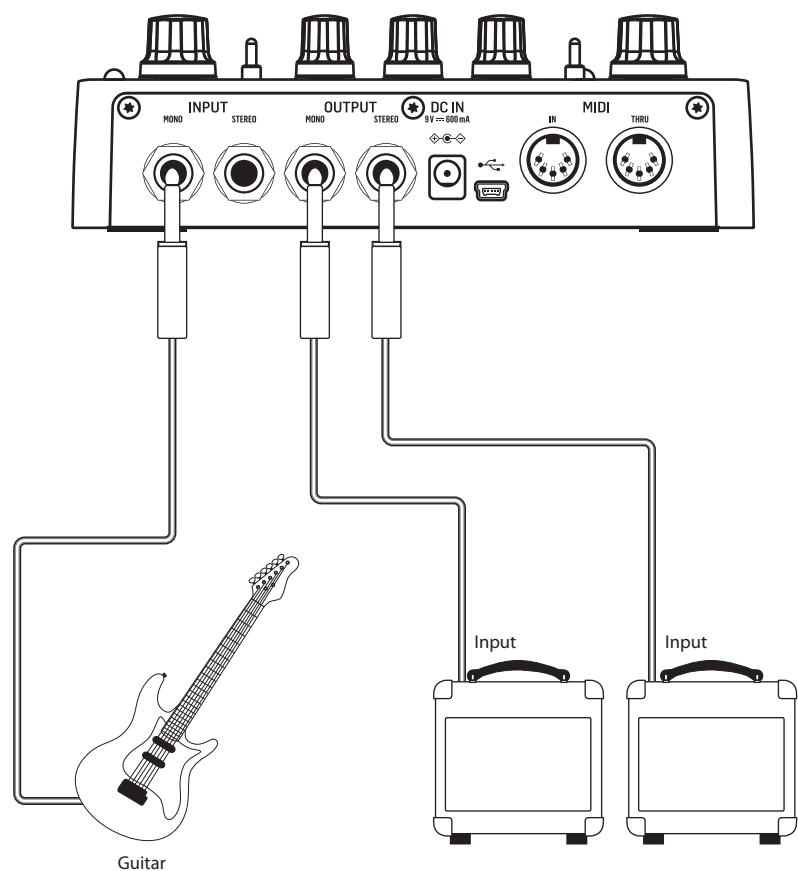
適用される保証条件と Music Tribe の限定保証に関する概要については、オンライン上 community.musictribe.com/pages/support#warranty にて詳細をご確認ください。

JP

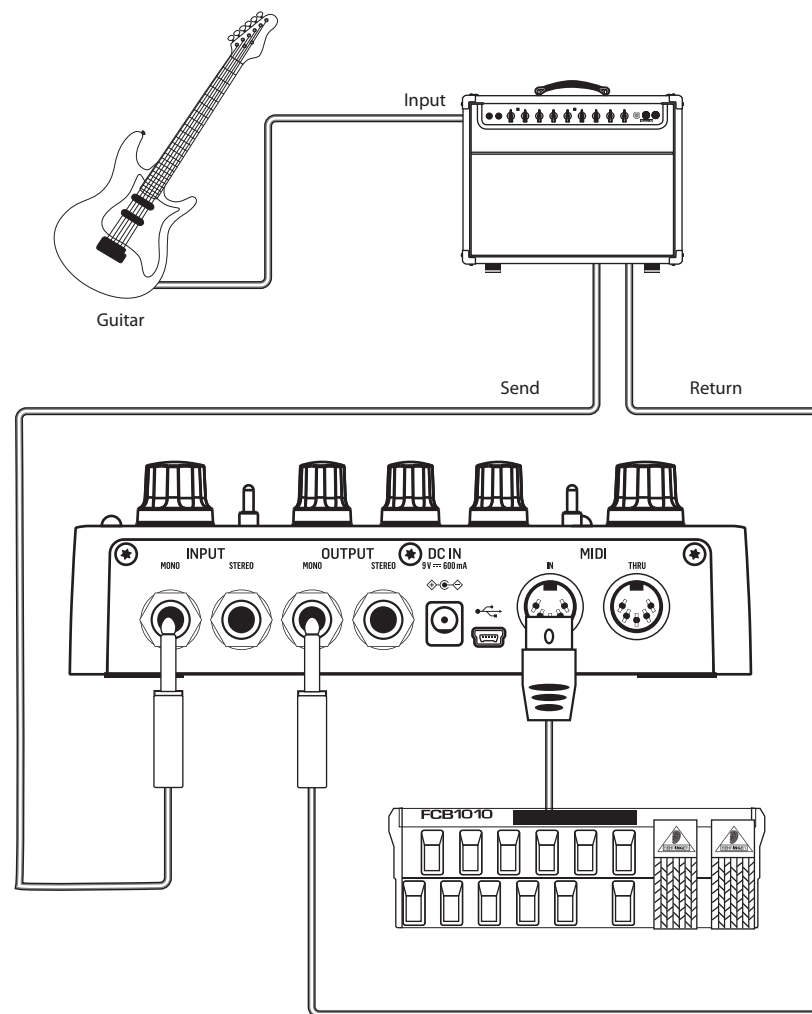
PLETHORA X3 フックアップ

ステップ 1: フックアップ

アンプへのステレオ デュアル出力

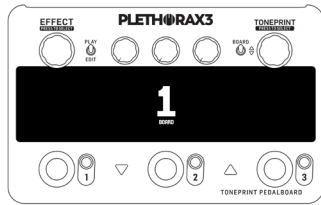


MIDI 制御アンプリファァーセンド/リターン エフェクトループ

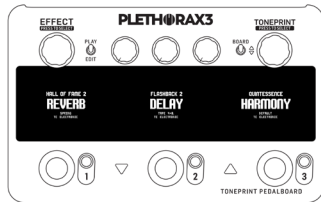


PLETHORA X3 BOARDS, PEDALS, TonePrints

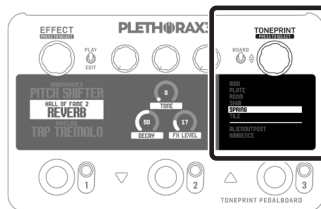
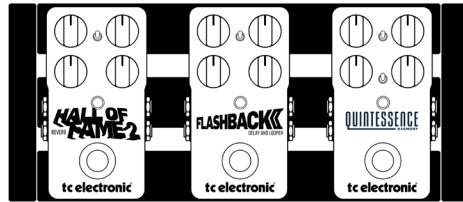
JP



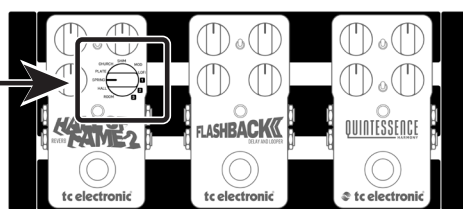
図表 1, BOARD (ボード)



図表2, PEDAL (ペダル)



図表 3, TonePrint (トーンプリント)



ステップ 2: BOARD (ボード)、PEDAL (ペダル)、TonePrint (トーンプリント)

TonePrint ペダルボードとは何でしょうか? PLETHORA X3 は TONEPRINT PEDALBOARD と呼ばれる新しいタイプのマルチエフェクトユニット です。

コンセプトは非常に明快です：

1. BOARD を作成します。
2. BOARD に最大 3 つの PEDALS を配置します。
3. 各 PEDAL の TonePrint を選択します。

BOARD (ボード)

BOARD とは、3 つの PEDAL SLOT (ペダルスロット) から成るバーチャルペダルボードです。各 PEDAL SLOT に PEDAL を配置、カスタマイズし、それからプリセットとして呼び出しできます (図表 1、BOARD 参照)。

PLETHORA X3 では最大 127 のプリセット BOARDS を保存および呼び出しできます。

PEDAL (ペダル)

PEDAL とは、BOARD の 3 つの PEDAL SLOT のいずれかに配置する、バーチャルストンプボックスです (図表 2、PEDAL 参照)。

PEDAL はお好みに応じて、BOARD でどのような順番にもアレンジでき、また配置順を変えることによって異なる効果を生み出します。PLETHORA X3 では、使用できる PEDAL には TonePrint の広範囲なペダルレンジが完全網羅されているのをはじめ (Hall of Fame Reverb、Flashback Delay 他)、Tape Deck Looper のような PLETHORA X3 の独占エフェクトも搭載されています。

TonePrint (トーンプリント)

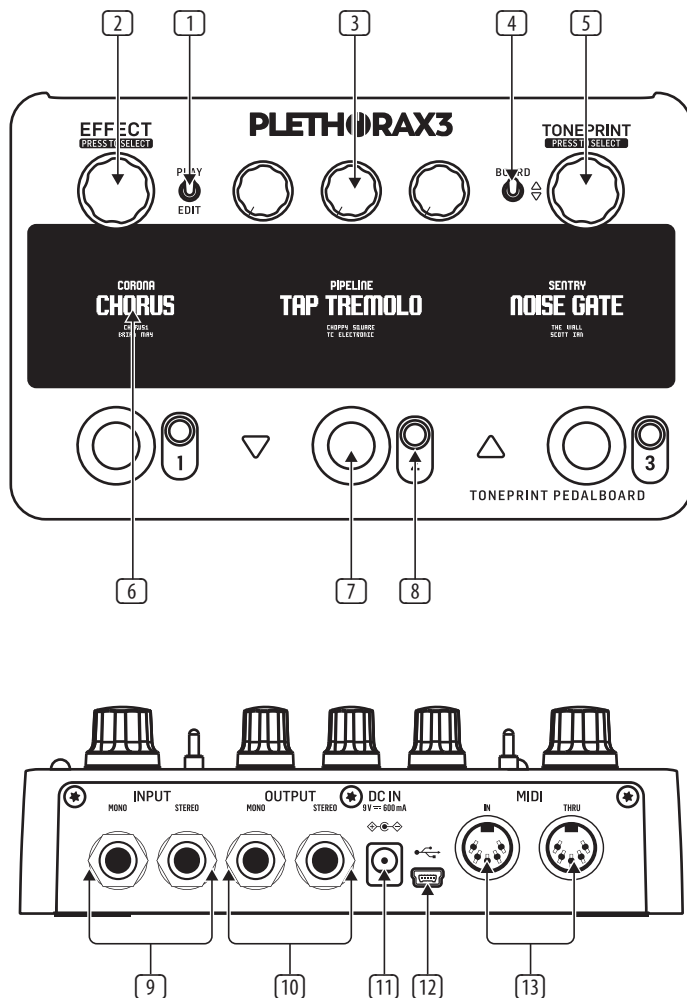
TonePrint は、選択した PEDAL に対するプリセットのようなものです。

読み込み時、TonePrint は PEDAL に対して、全エフェクトパラメーターで使用するセッティング、各ノブのマッピング、MASH フットスイッチ等について指示します (図表 3 TonePrint 参照)。

TonePrint を変更すると、PEDAL のサウンドが完全に変化します (図表 3 “TonePrint についてさらに詳しく” を参照)。

PLETHORA X3 コントロール

JP



ステップ 3: コントロール

① **PLAY/EDIT (プレイ/編集)** – PLAY と EDIT モードを切り替えるスイッチです。

② **EFFECT (エフェクト)** – PEDAL を選択し BOARD に割り当てするノブです。

EDIT モード – このノブを回して使用可能な PEDAL のリストをスクロールして、さらにノブを押すことで、選択した PEDAL を現在有効になっている PEDAL SLOT に割り当てます。

PLAY モード – このノブは機能を持ちません。

③ **パラメーター** – この 3 つのノブを使用して、PEDAL のエフェクトパラメーターを調節します。

EDIT モード – パラメーターノブは、選択した PEDAL の特定のエフェクトパラメーターの調節に使用します。これらのパラメーターはすぐさま自動的に保存されます。

PLAY モード – これらのノブは、BOARD 設定メニューで HOT KNOBZ (ホットノブ) として割り当てない限りは、機能を持ちません。HOT KNOB はエフェクトチェーン全体の PEDAL パラメーターノブの制御も割り当て可能で、PLAY モードで、素早く即座に調節できます。HOT KNOB での調整は自動保存されず、専ら PLAY モードでのリアルタイムの調節に使用します。

④ **BOARD (ボード)** – このスイッチを押すと、BOARD をスクロールアップ/ダウンします。

⑤ **TONEPRINT (トーンプリント)** – 選択した PEDAL のための TonePrint リストをスクロールするノブです。

EDIT モード – 回すと、一番右にあるスクリーンの TonePrint リストをスクロールします。押すと、現在選択されている PEDAL に、リストでハイライトされている TonePrint を選択および割り当てます。

PLAY モード – 長押しすると、クロマチック UniTune チューナーを有効にします。チューナーモードを終了するには、エンコーダーを再度押すか、フットスイッチを使用します。

⑥ **LCD ディスプレイ**

PLAY モード – BOARD の各 PEDAL SLOT で現在読み込まれ、有効になっているエフェクトを表示します。

EDIT モード – ディスプレイには、PEDAL リスト、TonePrint リスト、選択した PEDAL のパラメーターノブ設定が表示されます。

⑦ **フットスイッチ**

EDIT モード – 3 つのフットスイッチのうち、任意の PEDAL SLOT に対応するスイッチを押して選択します。続けて同じフットスイッチを踏むと、現在選択中の PEDAL をバイパス/有効化します。

PLAY モード – フットスイッチを押すと、対応する PEDAL SLOT の PEDAL をオン/オフします。長押しすると、たとえば MASH、RAMP および TAP TEMPO など、FOOTSWITCH FUNCTION の第二機能が有効になります。FOOTSWITCH FUNCTION の第二機能は、PEDAL/EFFECT リストの下の方にある BOARD 設定メニューで変更できます。

⑧ **インジケーター LED**

EDIT モード – LED は現在選択中の PEDAL SLOT を表示します。PEDAL がバイパスされている場合は LED が点滅し、PEDAL の有効時には継続点灯します。

PLAY モード – LED は対応する PEDAL のオン/オフの状態を表示します。TAP TEMPO など第二の FOOTSWITCH FUNCTION (フットスイッチ機能) では、LED にはエフェクトの現在の状態が表示されます。

⑨ **INPUT (MONO/STEREO) 入力 (モノラル/ステレオ)** – 標準 ¼ インチ TS コネクター対応のジャックです。ステレオ入力の際には両方のジャックを使用します; モノラル入力の場合は MONO 入力ジャックのみを使用します。

⑩ **OUTPUT (MONO/STEREO) 出力 (モノラル/ステレオ)** – 標準 ¼ インチ TS コネクター対応のジャックです。ステレオ出力の際には両方のジャックを使用します; モノラル出力の場合は MONO 入力ジャックのみを使用します。

⑪ **DC IN (DC 入力)** – 付属の外部電源サプライ (9 V DC、>600 mA) を接続します。安全のため、必ず製品に付属の電源サプライのみをご使用ください。

⑫ **USB** – mini-USB B タイプジャックを通じてユニットをコンピューターやモバイル機器と接続し、TonePrint App への接続や、ファームウェアアップデートをおこないます。

⑬ **MIDI (IN/THRU) – MIDI (入力/スルー)** – MIDI ジャックを通じ、外部 MIDI 機器によるフットスイッチの遠隔操作、BOARD 変更および FX パラメーターのリアルタイム制御が可能です (DAW のフットコントローラーと同様)。

PLETHORA X3 Creating a BOARD

ステップ 4: BOARD の作成

PLETHORA X3 での新規 BOARD の作成および配置は、次の手順でおこないます：

1. PLAY/EDIT スイッチを EDIT の位置に合わせます。
2. 新規 BOARD を作成します：
 - a. BOARD スイッチの位置を上向きにし、CREATE/DUPLICATE BOARD (新規作成／ボードの複製) メニューを開きます。
 - b. EFFECT ノブを回してメニューの “CREATE” (作成) をハイライトします。
 - c. EFFECT ノブを押し、CREATE を選択します。

注意: BOARD スイッチを下向きにすると、現在の BOARD を DELETE (削除) および CLEAR (消去) 可能になります。

3. 新規 BOARD に PEDAL を配置する：
 - a. 任意のフットスイッチを押して、対応する PEDAL SLOT を編集します。
 - b. EFFECT ノブを回して、一番左の画面のリストで、任意の エフェクト PEDAL をハイライトします。
 - c. EFFECT ノブを押して、ハイライトした PEDAL の選択を確定し、PEDAL SLOT に配置します。

注意: リストを一番下までスクロールすると、GLOBAL (グローバル) および BOARD 設定にアクセスできます。

4. TonePrint を選択し PEDAL に適用する
 - a. TONEPRINT ノブを回して、一番右のリストの TONEPRINT をハイライトおよび選択します。
 - b. TONEPRINT ノブを押し、TonePrint を PEDAL に読み込みます。
 - c. 3 つのパラメーターノブを使用して PEDAL のサウンドを調節します。

注意: PLETHORA X3 を TonePrint アプリに接続して、各 PEDAL の TonePrint のリストを編集できます。また PEDAL ごとに最大 75 のお気に入りの TonePrint リストを照合し、PLETHORA X3 に直接、素早く呼び出すことも可能です。

5. BOARD の残り 2 つの PEDAL SLOT に関しても、手順 3 および 4 を繰り返します：
 - a. 任意のフットスイッチを押して PEDAL SLOT を選択し、PEDAL を編集します。対応するフットスイッチの LED が点灯し、選択している PEDAL SLOT を識別できます。
 - b. 同じフットスイッチを連続で押すと、対応する PEDAL をオン／オフします。
 - c. PEDAL のバイパス時は、フットスイッチ LED が点滅します。
6. 設定を終了し、プレイを開始します：
 - a. PLAY/EDIT スイッチを PLAY モードに切り替えます。
 - b. EDIT モードでおこなった設定はすべて即座に自動保存されます。

注意: EFFECT リストの一番下からアクセスできる SETTINGS (設定) メニューでは、HOT KNOBZ、2ND FSW FUNCTION および MIDI オプションなどのカスタマイズオプションが利用できます。

PLETHORA X3 More on TonePrints

ステップ 5: TonePrint についてさらに詳しく

本機の表面には、各 TonePrint PEDAL に対する、通常のストンプボックスのようなパラメーターノブが 3 つあります。プレイ中の操作を容易に楽しくおこなえる配置となっています。ですが内部にはさらに、数百のパラメーターやオプションが用意されており、各 PEDAL のサウンドは、膨大な数のエフェクトを作成できるようになっています。

PLETHORA X3は、沢山の TonePrints があらかじめインストールされた状態で出荷され、各ペダルに対し最大 75 のお気に入りの TonePrints リストを編集し、PLETHORA X3 から直接即座に、簡単に呼び出すことができます。

アーティスト TonePrints

無料の TonePrint アプリを通じて入手いただける既成の TonePrint は、TC のトーンテクニシャンと、世界でも指折りのミュージシャンが協力し、細心の注意を払い、微調整を経て製作されています。こうした多彩な TonePrint により、ジャンルやスタイルを選ばず、各エフェクトに最適のサウンドを選択できます。ただ任意の TonePrint を 1 つ読み込んでいただくだけで、サウンドやペダルによるエフェクト制御を劇的に変化させることができます。

オリジナルの TonePrint を作成する

さらに深くサウンドクリエーションを追求したい、自身のシグニチャーエフェクトを作成したい場合は、アプリ内の TonePrint Editor (トーンプリントエディター) を使用いただくことで、独自の TonePrint を作成できます。TonePrint Editor ではサウンドデザインのための、隠れた数百ものエフェクトパラメーターへのアクセスが可能になるだけでなく、各ノブや、MASH フットスイッチ、EXP (エクスプレッション) により、最大 3 つのパラメーターを同時に、思いのままに制御できます。

アプリでカスタム TonePrint を作成および保存した後は、カスタム TonePrint を PLETHORA X3 にアップロードし、お気に入りのリストに追加して、新規 BOARD を作成する際、すぐに呼び出せるようにしましょう。

TonePrint を PLETHORA X3 に 転送する

TonePrint を PLETHORA X3 に転送する方法は 2 種類あります。

1. **デスクトップ** – TC Electronic の公式ウェブサイトより TonePrint アプリをデスクトップコンピューターにダウンロードします。ダウンロードおよびインストールが完了すると、TonePrint の完全ライブラリーや TonePrint Editor にアクセスできるようになります。
 - 付属の USB ケーブルを使用してコンピューターと PLETHORA X3 を接続します。
 - TonePrint をご使用の機器に転送するには、TonePrint アプリを立ち上げ、製品リストの中から PLETHORA X3 を探して、画面上の指示にしたがってください。
2. **モバイル** – スマートフォンまたはタブレットを使用する場合は、無料の TonePrint アプリを Apple App Store* または Google Play Store* からダウンロードしてください。ダウンロードおよびインストールが完了すると、TonePrint の完全ライブラリーや TonePrint Editor にアクセスできるようになります。
 - TonePrint をご使用の機器に転送するには、TonePrint アプリを立ち上げ、製品リストの中から PLETHORA X3 を探して、画面上の指示にしたがってください。

*Apple App Store は Apple Inc. の商標です。Google Play Store は Google, Inc. の商標です。

*Bluetooth のワードマークおよびロゴは Bluetooth SIG, Inc. 所有の登録商標で、このマークの使用はライセンスを取得しておこなっています。Apple App Store は Apple Inc. の商標です。Google Play Store は Google, Inc. の商標です。

聴力の損傷を防ぐため、長期間の大きな音量での使用は避けてください。音量レベルを設定する際は、ヘッドフォンを装着して音声を聴取している状態で発話し、ご自身の声が聴こえることをご確認ください。

PLETHORA X3 Bluetooth Pairing

ステップ 6: Bluetooth ペアリング

PLETHORA X3を、 Bluetooth* を通じて TonePrint App (バージョン 4.2 以降) を起動しているモバイル機器とペアリングします。TonePrint App は Apple App Store* または Google Play Store* よりダウンロードいただけます。

Bluetooth ペアリングを開く

次の手順で、PLETHORA X3 の Bluetooth ペアリングモードを開きます：

- 1. PLAY/EDIT スイッチを下に向けてEDIT の位置にし、PLETHORA X3 を EDIT モードにします。
- 2. EFFECT ノブを時計回り方向に回し、一番左の LCD 画面で SETTINGS までスクロールダウンします。
- 3. EFFECT ノブを押して、SETTINGS メニューに入ります。
- 4. SETTINGS メニューで EFFECT ノブを使用して GLOBAL > BLUETOOTH へ行きます。
- 5. EFFECT ノブを押して CONNECT を選択します。“CONNECT ” (接続) が “CONNECTING” (接続中) に変わり、PLETHORA X3 をモバイル機器とペアリング可能になります。

モバイル機器とのペアリング

以下の手順で、PLETHORA X3 をご使用の機器とペアリングします：

- 1. ご使用のモバイル機器で Bluetooth が有効になっていることをご確認ください。
- 2. モバイル機器で TonePrint App (バージョン 4.2 以降) を起動します。
- 3. アプリウィンドウ右上隅の歯車マークを押し、TonePrint App のセッティングメニューへ行きます。
- 4. アプリのセッティングメニュー内の BLUETOOTH で、“Connect to a Bluetooth enabled pedal” (Bluetooth が有効になっているペダル) を選択します。
- 5. 使用可能な Bluetooth 機器のポップアップリストから PLETHORA X3 を選択します。
- 6. ペアリングが成功すると、PLETHORA X3 は自動的に SETTINGS メニューを終了し EDIT モードに戻ります。
- 7. PLETHORA X3 とモバイル機器とのペアリングが確立したことを確認するには、手順 1~4 を繰り返します。ペアリングが成功すると BLUETOOTH メニューに CONNECTED (接続されています) と表示されます。

注意: LETHORA X3 に USB または Bluetooth のいずれかを通じて接続できる機器は、1 台のみです。

技術仕様

バイパスモード	トゥルーバイパス
入力端子	2 x ¼ インチ TS、アンバランス型
入力インピーダンス	1 MΩ
出力端子	2 x ¼ インチ TS、アンバランス型
MIDI入力 / スルー	2 x 5ピン式 DIN
電源入力	標準 5.5 / 2.1 mm 9 VDC、 センターマイナス
	>600 mA (付属)
コントロール類	EFFECT ノブ、TONEPRINT ノブ、パラメーターノブ (アサインابل)、エフェクトスロット / MASHフットスイッチ (アサインابل)、PLAY / EDIT 選択スイッチ、BOARDS 選択スイッチ
レイテンシー	0.8 – 2.4 ms
USB ポート	Mini-B USB コネクター
Bluetooth	
バージョン	バージョン 4.2 ローエナジー
動作周波数	2.402 - 2.48 GHz
チャンネル番号	40
RF出力	8 dBm
動作距離	オープンスペースで最長 10 m (壁や構造により、機器の範囲は影響を受けます)
サイズ (H x W x D)	56.02 x 176.53 x 116.75 mm (2.2 x 7.0 x 4.6インチ)
重量	0.775 kg (1.71 lbs)

その他の重要な情報

JP その他の重要な情報

1. ヒューズの格納部 / 電圧

の選択: ユニットをパワーソケットに接続する前に、各モデルに対応した正しい主電源を使用していることを確認してください。ユニットによっては、230V と 120V の 2 つの違うポジションを切り替えて使う、ヒューズの格納部を備えているものがあります。正しくない値のヒューズは、絶対に適切な値のヒューズに交換されている必要があります。

2. 故障: MusicTribe ディーラーがお客様のお近くになくときは、musictribe.com の “Support” 内に列記されている、お客様の国の MusicTribe ディストリビューターにコンタクトすることができます。お客様の国がリストにない場合は、同じ musictribe.com の “Support” 内にある “Online Support” でお客様の問題が処理できないか、チェックしてみてください。あるいは、商品を返送する前に、musictribe.com で、オンラインの保証請求を要請してください。

3. 電源接続: 電源ソケットに電源コードを接続する前に、本製品に適切な電圧を使用していることをご確認ください。不具合が発生したヒューズは必ず電圧および電流、種類が同じヒューズに交換する必要があります。

